

平成30年3月21日(水)第5回 「ほっと・ほらんていあ」の報告

今回のテーマは、「読み聞かせ」やってみませんか「おもしろかった！」というこどもの笑顔がステキと題して、ゲストに、**お話シャワーのメンバーの方**をお迎えして、**活動の紹介と、実際に読み聞かせ**をしていただきました。

お話シャワーは、平成15年にNHK文化センターの「ボランティア朗読」を受講したメンバーが、**先生の勧めもあって始めた**ボランティア活動だそうです。5人で活動していて、現在はメンバーが少ないので、保育園以外での活動をお休みしているそうです。今年度は、**保育園で、4回**読み聞かせをしたそうです。その他**フリーで老人ホーム等に行くこともある**そうです。**本を選ぶ時には、どの本を取り上げるのか悩む**そうです。そして**選んだ本を、読みこんでから、みなさんに披露する**そうです。保育園の3歳児だと、この前も来た人だって言ってくれて、6歳児になると、あの時こうしていたねって、具体的な話をしてくるそうです。絵本を読むときは、**緊張するけども、それでも、また来てね**と言われると、**また行きたくなる**そうです。

活動紹介の後、実際に、絵本を読んでいただきました。最初に、「おしゃれねこ」の本を読んでもらい、最後の展開に少しびっくりしました。また、**読む前に作者と絵を描いた人の紹介**をしてから読み始めたのが印象的でした。次に、「かせのでんわ」を読んでもくれました。その絵本は**2010年の冬に、電話線は繋がっていないが、受話器に向かって話しかけることで心が癒されることを願って（傾聴と同じ効果がある）**岩手県大槌町の海を望む高台（個人宅の庭）に**設置された電話ボックスのお話**でした。**東日本大震災が起こった後は、震災で亡くなって会えない相手に想いを伝えるために、多くの人**が訪れてくるようになったそうです。そのことを物語にした絵本でした。最後に、**お孫さんにせがまれて**読み聞かせをしている「**きかんしゃやえもん**」を読んでもくれました。

今回は、参加者は少なかったのですが、**いろいろな質問**が飛び交った後で、「言葉遣いをはっきりしたきれいな声、感情のこもった話し方に引き込まれました。」「感動したり、心に残り楽しかった本は、相手に伝わるということが分かりました。」などの感想もいただきました。**読み聞かせに対する興味がわいた参加者の二人は、保育園での読み聞かせの見学に行くことになりました。**また、**メンバー同士の読み聞かせを「初めて聞いて勉強になりました。」**等と、**メンバー同士の交流**も垣間見れて、**楽しい時間**でした。

「ほっと・ほらんていあ」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、**2か月に1回程**開催しています。**次回は、5月か6月頃**に開催する予定です。内容は、まだ未定です。詳細が決まりましたら、**広報、HP、新聞、ラジオ等**でお知らせいたします。ボランティアに興味のある方に限らずに、**みなさんのご参加をお待ち**しています。